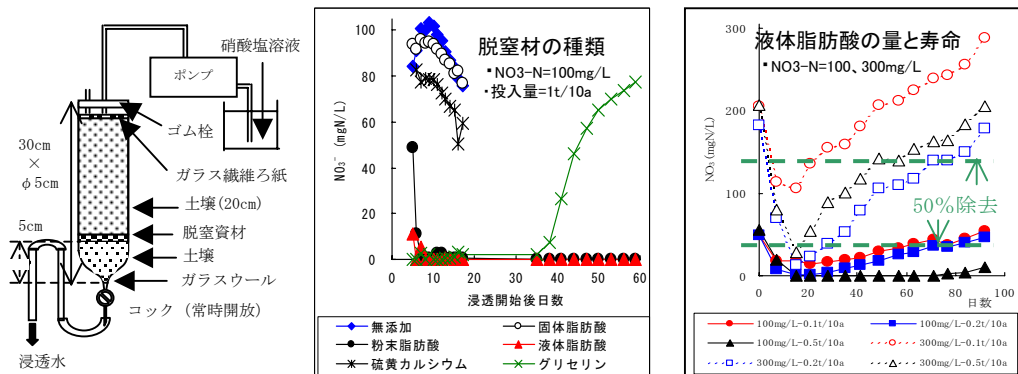
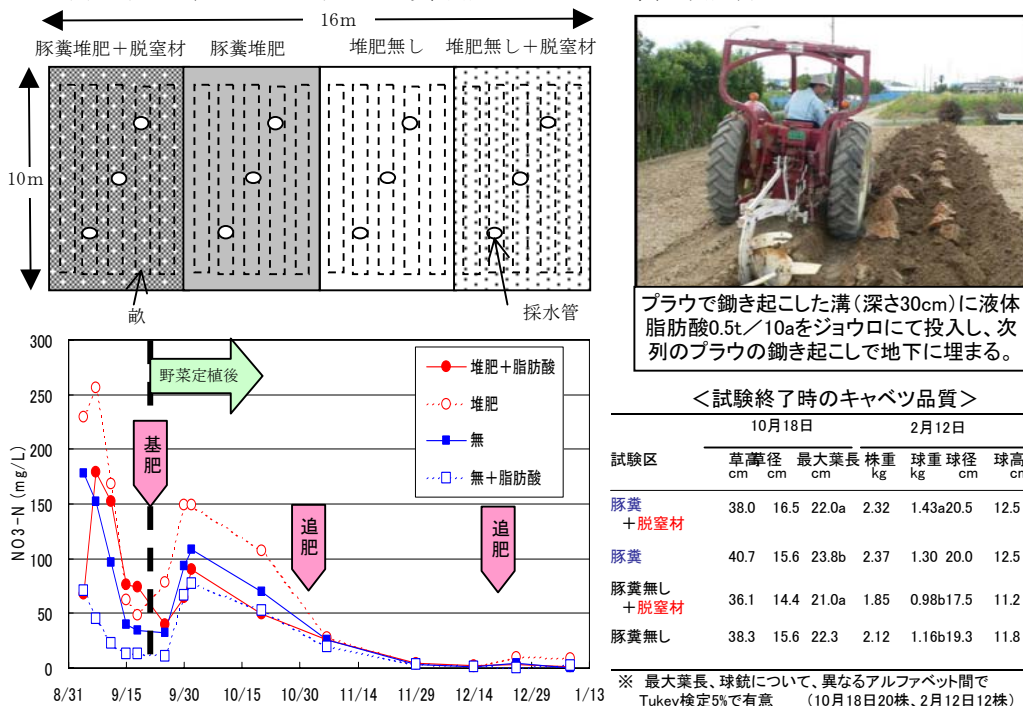


1. 畑地の畜糞堆肥から溶脱する硝酸性窒素の浸透抑制（深層施用）

(1) カラム予備試験・・・20℃保温, 通水量=20cc/日, 土壌下20cmに脱窒材投入

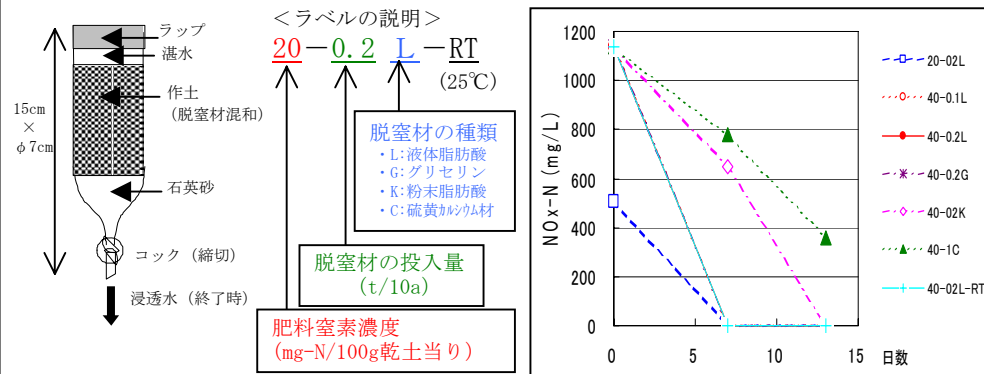


(2) 実証フィールド試験・・・豚糞堆肥=0.04t/10a, 化学肥料=0.036t/10a

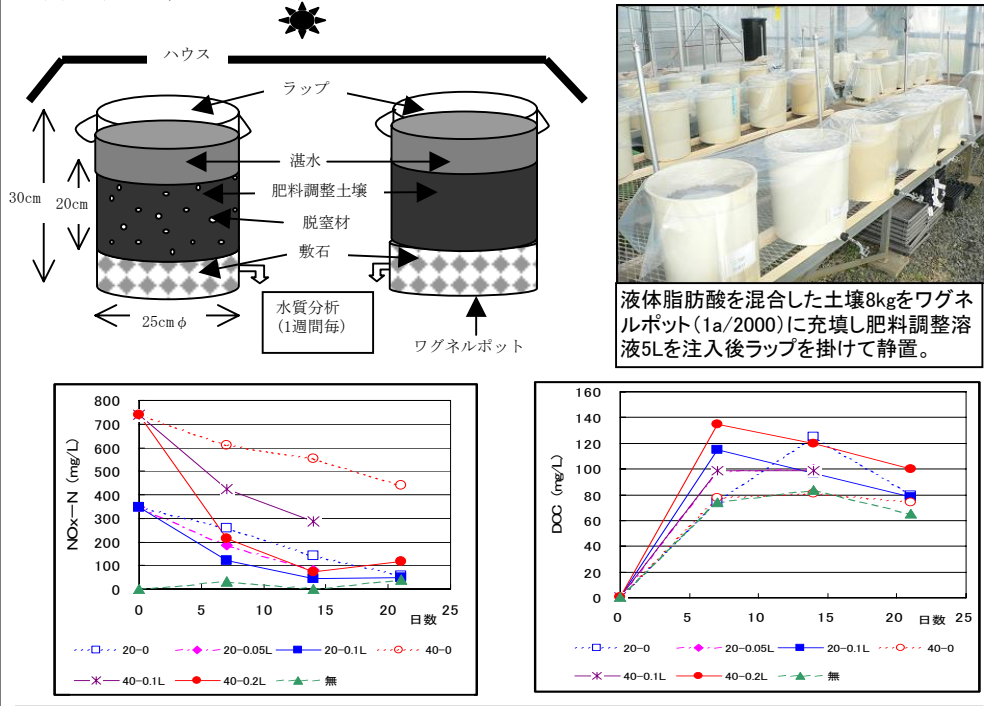


2. 施設園芸土壌から溶脱する硝酸性窒素の浸透抑制（湛水太陽熱消毒）

(1) カラム予備試験・・・35℃, 肥料調整土壌400gに300ccの水を注入



(2) 実証フィールド試験



※液体脂肪酸または粉末脂肪酸が即効性、有機物溶出が少ない、寿命が長い、pHの安定性の点で優れていた。
※液体脂肪酸を0.5t/10aを用いた実証フィールド試験において2ヶ月間ほど硝酸性窒素を半減できた。

※液体脂肪酸が即効性、有機物溶出が少ない、pHの安定性の点で優れていた。
※液体脂肪酸0.2t/10aを用いた実証フィールド試験(40mg-N/100g土)では21日で硝酸性窒素を除去した。
※液体脂肪酸の投入量を抑制して、脱窒材が残留せず次作の植物栽培に影響が少ないことを確認した。